

2010年12月2日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

本学子ども家庭支援センター

「ラ・ルーラ」5周年を祝う会を開催します

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）が各務原キャンパスに設置している子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」がこのたび、開設5周年を迎えるのにあたり、「みんなで祝いする会」を12月11日に開催します。

子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」は2006年に本学各務原キャンパスに開設しました。利用者総数はことし7月に3万人を超え、各務原市民の皆さんをはじめ、多くの方に利用されてきました。今回はラ・ルーラの利用者らとともに楽しめるイベントを企画し、開設5周年を祝います。

記

- 日時 2010年12月11日（土） 午前10時から同11時45分まで
- 場所 中部学院大学各務原キャンパス「グローリアホール」
(各務原市那加甥田町30-1 058-375-3600)
- 参加者

各務原市	森 真	各務原市長
各務原市	五藤 龍彦	健康福祉部長
各務原市	那須 智行	子育て支援課長
中部学院大学	岡本 健	大学学長
中部学院大学短期大学部	片桐多恵子	短期大学部学長

ラ・ルーラ利用者（2歳から小学2年生までの子どもと保護者）100組
子ども学部の学生ほか
- 式次第

・ あいさつ	岡本 健 中部学院大学 学長
・ うたって遊ぼう	ラ・ルーラボランティアサークル部員、学生有志
・ 祝 辞	森 真 各務原市長
・ お芝居を楽しもう	劇団風の子による公演
・ あいさつ	片桐多恵子 中部学院大学短期大学部学長
・ お見送り	

■ ラ・ルーラ開設の経緯

2006年4月、本学各務原キャンパスの開学に伴い、同年5月14日、子ども家庭支援センターを開所しました。愛称は一般公募し、山県市の水谷早苗さんの「ラ・ルーラ」に決まりました。水の精に由来しています。いのちの源である水。みずみずしい泉が湧き出るように、子どもたちが伸びやかに明るく元気よく育ててほしい思いが込められています。

■ ラ・ルーラの特徴

親子の新たな出会いと交流を図るため、親子が安心して集える場、親子が楽しく遊んで過ごせる場、親子同士が交流し合える場として提供してきました。保護者が子どもと共に活動したり、地域の子どもたちや保護者、子育て支援に関わる人々が交流したり、「共育」できる場です。大きな特徴として、**「大学のキャンパス内に施設があること」「生涯学習の拠点である各務原シティカレッジと連携していること」**の2つが挙げられます。本学各務原キャンパスには子ども学部子ども学科があり、将来、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭、社会福祉施設職員を目指す学生が在籍しています。ラ・ルーラは授業の中で実習の場として、あるいは学生の自主的な学習の場として、絵本の読み聞かせをしたり、一緒に遊んだり、実体験を通じた学びがあります。各務原シティカレッジでは、「親子で楽しい読み聞かせ&おいしいおかしづくり講座」など、親子で楽しむ企画があり、市民に親しまれる場として歩んできました。



■ ラ・ルーラの事業内容

➤ 親子の居場所の提供

就学前の親子が気軽に立ち寄り、心地よいひと時を過ごしてもらうために、乳幼児にふさわしい遊具や絵本などを用意し、場や空間を提供しています。

➤ 子育ての相談に応じる場

保育士が常駐し、個々の相談に随時応えていきます。ケースに応じてそれぞれの専門スタッフ（大学教員）も相談に応じます。

➤ 次代における子育て・家庭支援のあり方を模索

地域の子育て・家庭支援に携わる人材・関係諸機関・学内外の研究者と積極的に交流しながら、子どもの健全育成の関係作りの拠点にしています。

➤ 親子で楽しく遊び学ぶプログラムの提供

就学前の親子の実態やニーズに応じたプログラムを準備し、親子で楽しく参加する学びの場を提供しています。

➤ 学生が実体験を通して学ぶ場

学生がボランティアとして参加しながら、子どもや保護者、子育ての支援事業への理解を深め、知識やノウハウを学ぶ場とします。

➤ 保育者の交流と研修の場

岐阜県・愛知県などの保育者を対象に、子ども未来セミナーなどを実施し、保育者の再教育の場として機能しています。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学各務原キャンパス（各務原事務部長：今井） TEL:058-375-3600